

令和7年度第三者評価 改善状況報告書

2026年5月22日

施設名	港南子ども中高生プラザ	施設所管課	芝浦港南地区総合支所管理課
所在地	港区港南4-3-7	指定管理者	本所賀川記念館・太平ビルサービス共同事業体

改善すべき指摘内容等	対応事業者 (共同事業体の場合記入)	令和8年3月までの改善状況等 (指定管理者記入欄)	令和8年4月以降の取組予定 (指定管理者記入欄)	所管課確認欄 (施設所管課記入欄)
<p>【児童の実態や状況の変化に応じた育成支援と組織力の向上の推進】</p> <p>年間育成支援計画に基づき児童理解と長期的な育成目標の設定を進めるために、職員が強みを認め合い補完し合うことで組織力を高め、バディ体制や研修の充実のもと一体的な支援を行うことを課題とする。</p>	一般財団法人本所賀川記念館	バディ制に機能不全の指摘はあるものの、新人育成においては効果的な手法と認識しています。適宜施設内で議論をかわし改善を図りながら、継続して実施しました。	<ul style="list-style-type: none"> ・主任～リーダー層が職員に対して行う「OJT面談」を行い適宜フォローすることにより、職員育成に取り組みます。 ・チームビルディングといった具体的なテーマで研修を実施することにより、チームとしてこれまで以上に協力して育成支援にあたるよう体制を整えます。 	子どもたち一人ひとりに真摯に向き合い、それぞれの成長や個性に配慮した丁寧な対応を行うためには、人材育成や組織力の向上が重要です。それをしっかりと認識した上で、研修等に取り組み、適宜改善を図られていることを区として確認します。
<p>【児童の育ちの共有を通じた、地域コミュニティとのつながりの深化】</p> <p>保護者が子育ての楽しさを体感し、児童の成長を共有し一緒に楽しめる企画を実施してきた実績を活かし、引き続き、地域コミュニティとのつながりを深め、協力者になってもらえるよう取り組みを継続していくことを課題とする。</p>	一般財団法人本所賀川記念館	当館では、評価者の指摘にある「パパプログラム」等の他にも、港南地域連合会で交流のある集合住宅の自治会や、防災ネットワークに携わる住民との協力連携もあり、住民や保護者の館まつりへの協力もあり、職員が地域のイベントを手伝うということも活発に取り組んでいる。また、「出張型子育てひろば」のようなアウトリーチプログラムにも取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> ・年間2回開催する地域懇談会を通じて地域や保護者との関係性を深め、「子どもを地域全体で育てる」という命題についてより深く協力関係を築いていきます。 ・自主事業で提案している「地域運動会」を引き続き実施するとともに、適宜工夫改善に取り組み、コミュニティを深めていきます。 	地域懇談会の場等を活用し、保護者や地域との関係性を深め、地域全体で子どもを見守る環境づくりが推進されることを、区として引き続き確認します。
<p>【専門性を高める学びを通じた、知識と技能の共有および向上】</p> <p>多様な職員の強みを活かした支援により、児童の社会性や共感力を育ててきた。今後は専門性向上に向けた研修と学びの共有を通じ、障害のある児童への支援力向上と職員の意欲向上を図ることを課題とする。</p>	一般財団法人本所賀川記念館	背景、経歴や資格も様々な中、職員一人ひとりの得意分野を活かし、児童の状況に合わせた支援を全職員が実践してきた。障害の有無に関わらず一緒に過ごす中で互いの違いを認め合い、社会性や共感力を育ててきた。発達に課題のある児童の利用が増えている中、臨床心理士資格のある障がい児対応のアドバイザーの巡回指導の時間を増やすなど、学びの機会を設け、職員の能力向上を図った。	<ul style="list-style-type: none"> ・館内外の研修の機会を増やし、さらなる職員育成に取り組みます。 ・障がい児対応のアドバイザーの巡回指導を通して障がいのある児童への対応能力を向上させます。 ・港南地域の学童クラブ施設間の情報交換や人事交流を通じ、よりよい育成支援につなげます。 	障がいのある児童への対応力の向上については引き続き取組状況を確認します。また、本施設は障害のある児童だけではなく、外国籍等を理由に配慮を要するケースも増加しています。職員のみならず、児童同士においても相互理解が深まるような育成支援に期待します。